



TITLE:

支部通信

AUTHOR(S):

CITATION:

支部通信. 天界 1923, 3(32): 279-279

ISSUE DATE:

1923-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159952>

RIGHT:

支 部 通 信

○岡山支部六月の活動

本月は「時記念日」があるので、毎年大活動をして居たが、本年は如何かと思つて居たに拘らず、數回講演が開かれた。

一、四日午後三時から西大寺高等女學校で
六月の星座 水野 幹事

夜は實地觀望、星座の説明。

二、四日第六高等學校科學會で

木星と土星(第一回) 宮原 幹事

三、九日午前九時から岡山市立商業學校で
時について 水野 幹事

四、九日午後三時から倉敷高等女學校で

太陽の運行 水野 幹事

五、九日午後七時から宮原幹事宅で

天界研究會開催

六、十日午後八時から十五銀行岡山支店露臺で、左の講演がある筈であつたが、曇天の爲め延期された。

星座及び天體觀測 水野 幹事

七、十一日第六高等學校科學會で

木星と土星(第二回) 宮原 幹事

八、十六日午後四時から、岡山市教育會總會
で

國語讀本中にある「太陽について」

水野 幹事

九、十七日午後二時から後樂園で、西大寺高等女學校卒業生同窓會の爲めに

七夕星 水野 幹事

十、十八日第六高等學校科學會で

木星と土星(第三回) 宮原 幹事

十一、天文童話星座めぐり。水野幹事著「太陽の親類めぐり」の姉妹篇で、いよく出版せられた。定價壹圓五拾錢、書留送料拾五錢、發行所は東京警醒社書店である。

○神戸支部の活動

一、七月十一日別項の如く、新城博士の渡濤に際し、京都天文臺及本會本部員一同神戸港へ同博士を見送り、其の序に葺木理學士が講師として、神戸小學校に於て左の講演をせらる。會する者約四十名、一同満足の觀ありき「變光星、流星、太陽黒點の觀測の宇宙物理學的意義」

二、上海森氏の三吋赤道儀は神戸在住の森下

(二八)

氏の手に移りたるを以つて、今後隔月位に會費を徴して例會を開催する約束なりたり。

會 員 消 息

○新城博士 は汎太平洋會議に出席の爲め七月十一日神戸港出帆の吉野丸に便乗、濠洲のシドニー、メルボルンに於ける同會議に我國天文學界を代表して太陽について論ぜらる、由、歸學は九月末の豫定。

○山本理學士 ヤーキース天文臺に研究中なりし同氏夫妻は六月末同地を去り、十月三十一日まで

Mr. Wilson Observatory,

Pasadena, California, U. S. A.

に滞在、其の後

Harvard College Observatory,

Cambridge, Massachusetts, U. S. A.

に滞在せらる、等。

○上田助教 八月二、三兩日城の崎町主催の天文學講演會に同志社所蔵の四吋望遠鏡を携えて出演せられ、其後故郷徳島に於て六日間の講習をせられたり。